

■第1期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価結果

基本目標／手段		評価項目	配点	評価結果	合計点数	付帯意見等
基本目標1:横手に住む価値を持ち、定住する若者が増えている						
手段①	若者が横手で定職に就ける、起業できる仕組みが整っている	①事業の目的	20	17.0	75.0	<ul style="list-style-type: none"> ・横手に定住するための施策は今後も継続してほしい。 ・農業関連事業において、基幹産業の支援に係る意欲が見られる。 ・商工関係事業について、市・国・県、民間等の取組を精査し、重複がないか、協力連携ができないか、工夫することを望む。 ・事業遂行において、具体的目標の設定が重要と考える。 ・財政的に厳しい状況の中で、具体的成果につながるよう望む。 ・すぐに結果につながらない事業もあるが、継続してほしい。
		②事業の構成	20	16.0		
		③目標の妥当性	20	15.0		
		④目標の達成状況	20	14.0		
		⑤費用対効果	20	13.0		
手段②	横手の魅力が内外に知られ、横手の「豊かな暮らし」を楽しむ若者が増えている	①事業の目的	20	17.6	78.4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標に対する事業目的は適切である。 ・成果について判断できるKPIにした方がいい。なぜその目標値にしたのか、過去の数値や他市の数値が分かるとよい。 ・目標値の選定は、もう少し検討の必要があると思う。 ・目標値に費用対効果を判断できるものがないので、比較できる他市のデータなどがあるとよいと思う。 ・一般財源以外に財源が確保できないか検討してほしい。
		②事業の構成	20	16.8		
		③目標の妥当性	20	14.4		
		④目標の達成状況	20	14.4		
		⑤費用対効果	20	15.2		
基本目標2:横手で家庭を持つ若者が増えている						
手段①	横手市で若い夫婦の数が増えている	①事業の目的	20	16.7	69.4	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる年代の心理を想像し、具体的な考え方を共有できれば内容的確なものになると思う。 ・内容を見直したうえで、効果のある事業であれば事業費を増額して、回数や場所を増やしてもいいと思う。 ・出会いの場の創出に対する市の関与について検討が必要と考えていたが、参加者の安心につながるのであればよいと思う。 ・事業結果に対する直接的な数値目標を設定してもよいと思う。 ・事業の実施が、婚姻の動機づけになっているのか疑問が残る。 ・事業後の追跡調査が行われていないのが残念。 ・人口減から、直接的に出生率の増につなげようとするねらいは理解できるが、直接的に結婚を後押ししようとしても若者の意識との乖離があると思う。
		②事業の構成	20	14.0		
		③目標の妥当性	20	12.7		
		④目標の達成状況	20	11.3		
		⑤費用対効果	20	14.7		
手段②	希望どおりの子どもの数が持てる仕組みが整っている	①事業の目的	20	17.3	73.3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施者側のインセンティブの検討も必要と思う。 ・住宅に対する支援は、経済効果も大きいことから、より実効性を求めてほしい。 ・費用対効果がわかりづらい。 ・目標値の見直しが必要と思う。 ・講演会や研修会等の参加者数を指標とするのではなく、実際に実施した事業所がどのような変容・変化がみられるかに注目してほしい。 ・事業の内容が本来の目的に合っているのか、見直しをしていただきたい。事業の意図が伝わっているのか不安である。 ・研修会のレベルから、会社(事業実施者)が具体的に取り組むような施策が必要と思う。 ・事業としての必要性は理解できる。 ・研修会について、参加しない要因を考えるべきである。企業として、従業員を参加させることのメリットが見えない内容であったように感じる。ニーズにフィットした告知となっていないため、効果につながっていないと考えられる。
		②事業の構成	20	13.3		
		③目標の妥当性	20	12.7		
		④目標の達成状況	20	13.3		
		⑤費用対効果	20	16.7		

※評価については、ヒアリング対象事業に対する全体評価であり、各委員の評価結果を得点化したうえで平均値を算出している。